

「スチール缶」に関する意識調査 調査結果ダイジェスト

1. スチール缶について

■ スチール缶がリサイクルの優等生であることは知られていない。

各飲料容器について、リサイクル率が1位だと思うものから6位だと思うものまで順に訊ねたところ、リサイクル率が『1位だと思う容器』として最も回答が多かったのは「ペットボトル」(52%)で、「スチール缶」はわずか4%と下位であった。(図1)

「スチール缶」は2位～3位に選ばれる割合が高く、総合的な順位は1位のペットボトル、2位のアルミ缶に続き、3位であった。

実際のスチール缶のリサイクル率は90.4%(平成23年度)と、高い割合だが、一般生活者にはスチール缶がリサイクルの優等生であることを知られていないことが明らかとなった。

【図1:リサイクル率が高いと思う容器】

(n=3000)

順位	リサイクル率が1位だと思う容器	(%)
1	ペットボトル	51.7
2	アルミ缶	18.1
3	ガラスびん	16.0
4	紙パック	9.2
5	スチール缶	4.1
6	紙またはプラスチックカップ	0.8

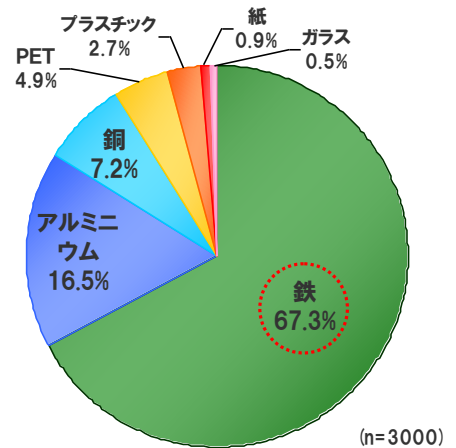
■ 3人に1人はスチール缶が鉄でできていることを知らない。

若い世代ほどスチール缶が鉄でできていることを知らない比率が高い。

スチール缶の素材について訊ねたところ、「鉄」と正しく認識しているのは67%にとどまり、3人に1人はスチール缶が鉄でできていることを知らないことがわかった。(図2)

若い世代ほど、スチール缶の素材を正しく認識しておらず、10代女性で「鉄」と回答したのは半数を下回った。

【図2:スチール缶の素材認知】



■ スチール缶が製鉄所でリサイクルされていることを知らない人は、約6割。

スチール缶のリサイクル特性について、「缶だけでなく別の鉄製品にも生まれ変わること、「製鉄所でリサイクルされている」ことは6割前後が「聞いたことはない」と回答した(図3)

リサイクル特性についても若い世代で認知が低く、特に10代～40代女性で「聞いたことはない」の割合が7割前後と高かった。

【図3:スチール缶のリサイクル特性認知】

	よく知っている	聞いたことはある	聞いたことはない
スチール缶は、缶だけでなく、別の鉄製品にも生まれ変わる (n=3000)	13.0	27.8	59.2
スチール缶は、製鉄所でリサイクルされている (n=3000)	10.4	25.2	64.4